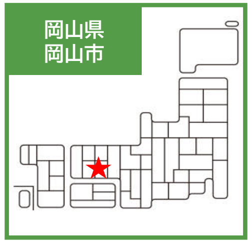
株式会社おおもり農園（岡山県岡山市）

2023優秀賞

新規就農後、自ら就労継続支援A型事業所を設立し、障害者に農作業を安定的に担ってもらうことで農地面積を拡大するとともに、利用者の将来の就農を目指す。

農林水産業経営体



基本情報

設立：H14年/農福連携取組開始：H21年

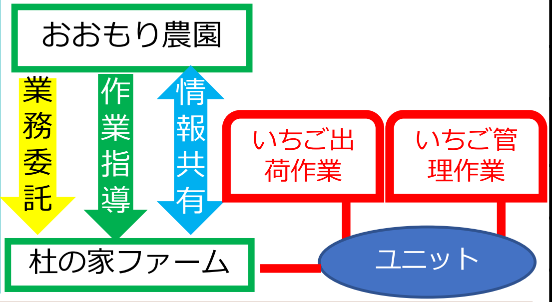
取得認証等：ノウフクJAS（R3）、認定農業者（H27）
6次産業化認定事業者（H30）

概要

主力商品
（農作物）いちご
（加工品）冷凍いちご、業務用いちごピューレ 等

特徴的な取組
スマート農業、ユニバーサル農園

体制図



受け入れている者	
身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	○
ひきこもり	○
高齢者	
その他	○

住所：岡山県岡山市中区兼基111－1
TEL：086－279－8391
Mail：info@npomori.com
URL：https://omorifarm.jp/

きっかけ

H21年

中国四国農政局主催のシンポジウム「クローズアップ農の福祉力」に参加し、障害者の受入れを決意。

取組

人を耕す
- いちごは年間作業時間が特に長い作物であり、夫婦二人の作業では限界があったが、育苗から収穫までの期間に障害者の特性に応じた作業を振り分けることで、苗の生産から株の手入れや防除も行うことが可能となり、規模拡大と労働時間の短縮を実現。

地域を耕す
- 高齢による離農の施設の受け入れや荒廃農地の開墾を行い、経営規模を拡大するとともに地域農業の維持に寄与。

未来を耕す
- 障害者にはただ作業をしてもらうだけでなく、将来の地域農業の後継者になれるよう様々な農業技術について指導を実施。
- 農福連携の活動を多くの方に知ってもらうことで農業の発展に寄与したいと考えている。

成果

平均工賃月額	障害者数	農地面積	―
94,000円（R2）→ 130,000円（R6）	18人（R2）→19人（R6）	0.5ha（R2）→0.8ha（R6）	

- 自らが障害福祉サービス事業所を設立することで、作業者を安定的に確保できるようになり、作業負担が軽減。休日を取得できるようになった。
- 経営に余裕が生まれた結果、離農した農業者からハウスを引き継ぎ、経営面積が約35aまで増加。
- 作業の見える化によって、異常発生時の問題点が明確になり、指示が障害者に的確に伝わるようになった。
- いちご栽培の安定的な請負とその他の施設外就労との組み合せにより、県内就労継続支援A型事業所の平均を上回る。

障害者等で働きたい方募集中（雇用形態は要相談/実習あり）／特別支援学校の生徒の就労実績あり／特別支援学校等の現場実習受入れ：可／視察受入れ：可／報道機関受入れ：可
特別支援学校における校内実習や作業学習への支援（体験の場の提供、農業に関する技術的な助言等）：可

更新時点：R8.3